

令和2年度 学校教育目標具現化のためのアクションプラン

〈教育目標〉 将来への夢と志を抱き、自ら学び心豊かでたくましく
生きる生徒の育成

〈目指す生徒の姿〉

- ・自ら知性と想像力を磨く生徒(知)
- ・豊かな情操を育み、粘り強く努力する生徒(徳)
- ・心身ともに健やかでたくましい生徒(体)

〈目指す学校の姿〉

- ・「生徒が主役」の学校の推進を図り、「居がい、来がい、学びがい」のある楽しく、そして風格のある学校を目指す。
- ・地域・保護者と学校課題を共有し、役割分担を明確にした協働による、地域と共に創り上げる学校を目指す。

(1) 安心・安全 な 学校づくり

- ① 特別の教科道徳の特性を生かした計画的な実践、カリキュラムの作成
- ② 生徒の自浄作用を醸成する学級経営（SEL、協同学習等）いじめ対策委員会の組織的な運営
- ③ 生徒会主体のあいさつ運動、ボランティア活動、「いじめをなくす共同宣言」の実施
- ④ 生徒会行事や生徒集会の企画・運営を通じた生徒の主体性の育成
- ⑤ 防災副読本の計画的な活用と多様な避難訓練の実施（地震、火災、原子力）、引き渡し訓練の実施（小中合同）

(2) 居心地の よい 学校づくり

- ① 様々な機会を捉えた生徒理解とチャンス相談 毎月のアンケートの実施
- ② よりよい人間関係の構築と不登校生徒への全校体制での支援（他の関係機関との連携）
- ③ 不登校生徒について、教育支援シートを活用し、生徒一人一人の状況を適切に把握し、組織的、計画的に支援する。
- ④ 自己有用感を高めるために、一人一人に活躍する場を与える学校行事、委員会活動の設定
- ⑤ 清掃の行き届いた校舎 明るい挨拶のあられる学校 元気な校歌が聞こえる学校を目指す

(3) 志教育を柱 にした 学校づくり

- ① 集団の中で、自己の果たすべき役割を認識させ、その役割を果たすことができるような学校行事、部活動の構築
- ② 生徒会を中心とした自立を目指した生徒会活動の展開（生徒集会、各種行事、ボランティア活動、アルカス）
- ③ 地域との関わりをとおした郷土愛の醸成
- ④ 小中連携主任を中心とした小学校との連携（中学校教諭の出前授業、図書委員の小学校訪問、児童の中学校訪問）
- ⑤ 学年に応じたキャリア教育の実施（先輩の話を聞く会、キャリアセミナー、職場体験学習、修学旅行でのオリパラ関連見学）

(4) 確かな学力の 育成を 目指した 学校づくり

- ① 放課後学び教室の計画的な実施と全校体制での家庭学習の支援（生活ノート、家庭学習ノートコンテスト）
- ② 石巻子どもの未来づくり事業の活用（MLAの観点から）
- ③ 協働による授業での授業研究の実施（授業研究、指導主事訪問）
- ④ 先進校の視察、外部講師の招聘による授業力の向上・教師の資質向上
- ⑤ 読書活動の推進（図書館司書と図書委員の連携、図書室の積極的な活用、多読賞の設定）

(5) 特別支援教育の充実を 目指した 学校づくり

- ① 生徒一人ひとりの実態を把握した、適切な教育課程の編成と教育活動の充実（サポートブックの作成と活用）
- ② 通常の学級との教科学習、学校行事、部活動、委員会活動等における積極的な交流学習（インクルーシブ教育）
- ③ コーディネーターを中心とした特別な支援を必要とする生徒の実態の把握と適切な対応（組織的な対応、個別支援計画の作成）
- ④ 宮城県立石巻支援学校との交流活動（居住地交流）

(6) 地域と共に ある 学校づくり

- ① 学校評価を活用したPDCAサイクルに基づいた学校教育活動の構築（学校評議員、学校関係者評価委員会）
- ② 地域連携担当を中心とした地域の人材、教育力の活用（授業、職場体験、部活動外部指導者、各種行事）
- ③ 故郷の自然、伝統、文化を愛し、故郷の発展を願う心の育成（ふるさと大好き中学生事業、地域人材の活用）
- ④ 地域と協働連携した防災教育の取組（地域防災連絡会の活用、※石巻市総合防災訓練）
- ⑤ 地域、保護者と学校課題を共有し、連携、協働した取組（学校評議員制度の活用）※学校運営協議会への発展を見据えて

具体的な達成目標

〈生徒、保護者アンケートより〉

- ・「いじめなど人間関係に不安がなく、安心して生活できる」生徒を80%以上とする。
- ・「意欲的に学習に取り組んでいる」生徒を85%以上とする。
- ・「学校は、保護者や地域の願いに応えている」保護者を80%以上とする。